

令和4年度 みたか学

戦争と三鷹

地域の記憶を辿る

フィールドワーク



提供：ICUアーカイブズ

日時

令和5年3月5日(日)*雨天延期3月11日(土)

13:30～17:00

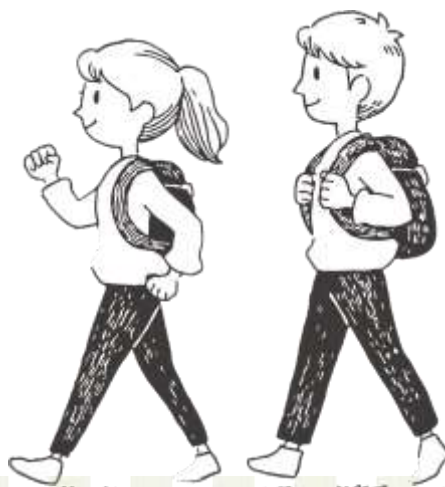
- 講師：高柳昌久（国際基督教大学高等学校教諭）
- 定員：20人 * 申込多数の場合は抽選、三鷹市民優先
- 対象：中学生以上
- 受講料：500円（中学生無料） * 当日払い
- 集合場所：大沢コミュニティ・センター

- 約5キロ（約3時間）の道程を歩く健脚の方向けのコースです
13:30大沢コミュニティ・センター集合、会議室で座学（約30分）
～調布飛行場～武蔵野の森公園・掩体壕～国際基督教大学南門から
構内へ（泰山荘外観、本館、チャペル前ロータリー、三軒家の道、
マックリーン牧師の碑・正門）17:00頃解散予定

地域に歴史を問いかける旅に
でかけませんか



申込方法は裏面へ



【主催・お問合せ】公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団 三鷹市生涯学習センター

【住所】〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ4階 【電話】0422-49-2521

【HP】<https://www.mitakagenki-plaza.jp/shogai/> 【Twitter】@ShogaiMitaka



公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団
Mitaka City Sports and Culture Foundation

晴れた日に、「ブルルルル・・・」という音で空を見上げると、調布飛行場へ向かうプロペラ機が飛んでいます。三鷹に住む私たちにとっては見慣れた光景ですが、戦時中はどのような飛行機が発着していたのでしょうか。そしてその隣にある広大な野川公園・国際基督教大学は戦時中、どのような施設だったのでしょうか。

78年前、この飛行場からはアメリカと戦う戦闘機が発着し、隣接した地域では軍用機の開発が行われていました。今も残る当時の遺構は、私たちに戦争の記憶を語りかけてくれます。その声に耳を傾けるとき、普段、何気なく目にしている風景が違って見えてくることでしょう。

● 講師プロフィール

高柳昌久

1989年より国際基督教大学高等学校教諭（地歴公民科）。武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会・幹事。『戦争の記憶を武蔵野にたずねて 増補版』（共著。ぶんしん出版2006年）、「中島飛行機三鷹研究所 - その稼働期 -」（『アジア文化研究』41、国際基督教大学アジア文化研究所2015年）などを執筆。

● 日程：令和5年3月5日（日）*雨天延期3月11日（土）13:30～17:00

*集合：大沢コミュニティ・センター 会議室（三鷹市大沢4-25-30）

*解散：国際基督教大学正門（三鷹市大沢4-10-2）



武蔵野の森公園の掩体壕（えんたいごう）
軍用機を攻撃から守るために作られました

● 定員：20人*申込多数の場合は抽選、三鷹市民優先

● 対象：中学生以上

● 受講料：500円（中学生無料）

申込方法（講座申込システム または 往復はがき）

● 講座申込システム <https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp/kouza/>



● 往復はがき 1) 講座名、2) 住所、3) 氏名（ふりがな）、4) 年齢（学年）、5) 電話番号、
6) どこから情報を得たか、7) 返信用はがきに宛先（住所・氏名）をご記入のうえ、
〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ4階 三鷹市生涯学習センター
『戦争と三鷹』係までお送りください。

● 申込期間：1月4日（水）～2月10日（金）（必着）

● 抽選結果の通知：2月14日（火）（予定）

講座申込システムから申し込まれた方 → 申込時のメールアドレスに抽選結果通知メールが届きます。

往復はがきで申し込まれた方 → 当落にかかわらず、結果を返信はがきで返信します。

【注意事項】 ・講座中はマスクの着用をお願いします ・受付時の検温で37.5度以上の方は受講できません。
・コロナの感染拡大状況により講座内容の変更や中止の可能性がありますのでご了承ください。

【集合場所 大沢コミュニティ・センターへの交通案内】

■ 路線バス（小田急バス）

武蔵境駅南口から「狛江駅北口行（境91系統）」
三鷹駅南口から「調布駅北口行（鷹51B系統）」
バス停「大沢コミュニティセンター」下車

● 講座についてのお問い合わせは、三鷹市生涯学習センター
（電話0422-49-2521）へお願いします。

